

特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議(第29回)

日時：令和2年2月1日(土) 10:00～12:00

場所：名古屋能楽堂 会議室

会 議 次 第

1 開会

2 あいさつ

3 議事

(1) 御深井丸の埋蔵文化財にかかる検討体制について <資料1>

4 報告

(1) 名古屋城重要文化財等展示収蔵施設(仮称)について <資料2>

(2) 名古屋城本丸御殿等の防火対策について <資料3>

5 閉会

特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議（第29回） 出席者名簿

日時：令和2年2月1日（土）10:00～12:00

場所：名古屋能楽堂 会議室

■構成員

（敬称略）

氏名	所属	備考
瀬口 哲夫	名古屋市立大学名誉教授	座長
丸山 宏	名城大学教授	副座長
赤羽 一郎	前名古屋市文化財調査委員会委員長・ 元愛知淑徳大学非常勤講師	
小濱 芳朗	名古屋市立大学名誉教授	
高瀬 要一	公益財団法人琴ノ浦温山荘園代表理事	
麓 和善	名古屋工業大学大学院教授	

■オブザーバー

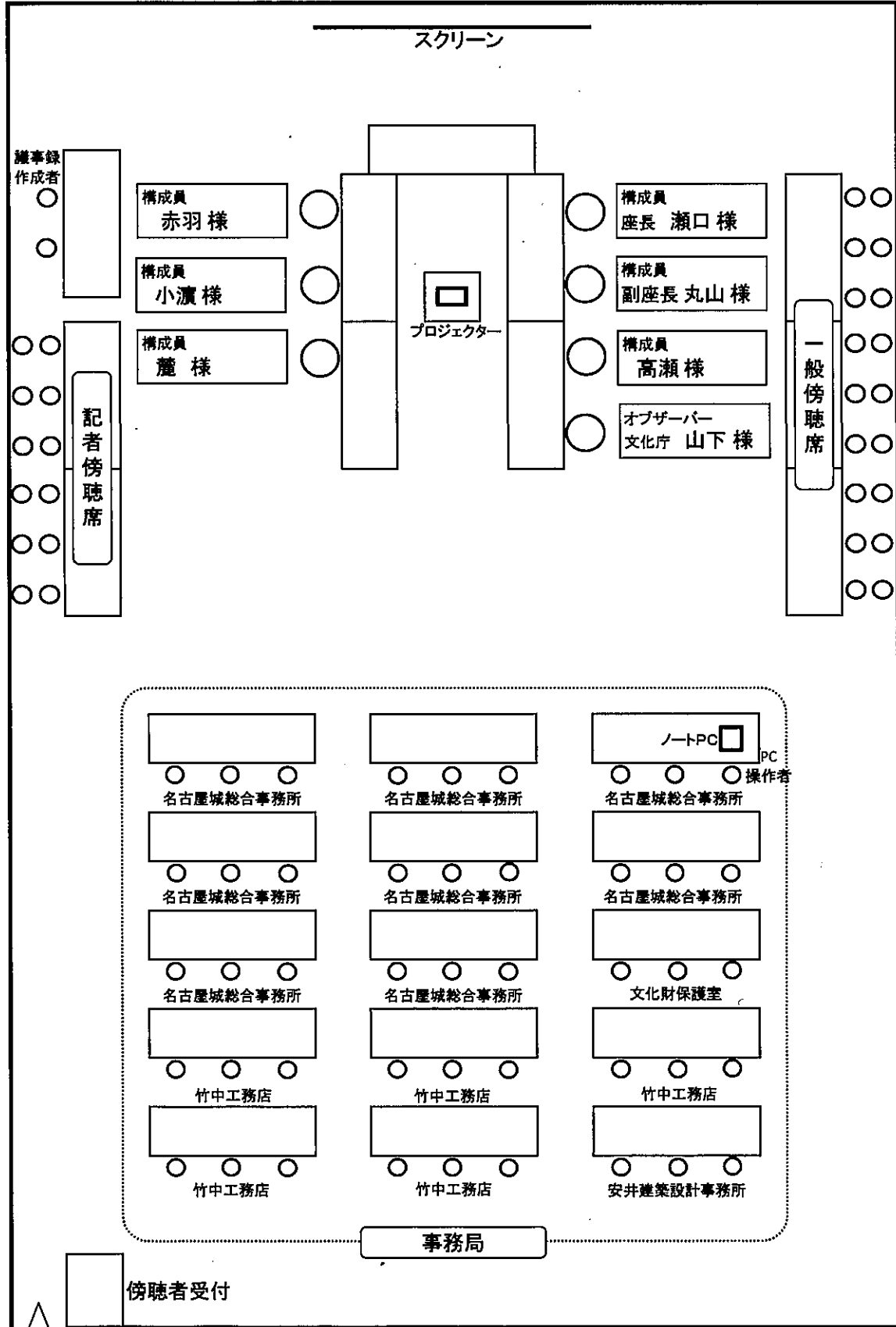
（敬称略）

氏名	所属
山下 信一郎	文化庁文化財第二課主任文化財調査官

第29回特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議

座席表

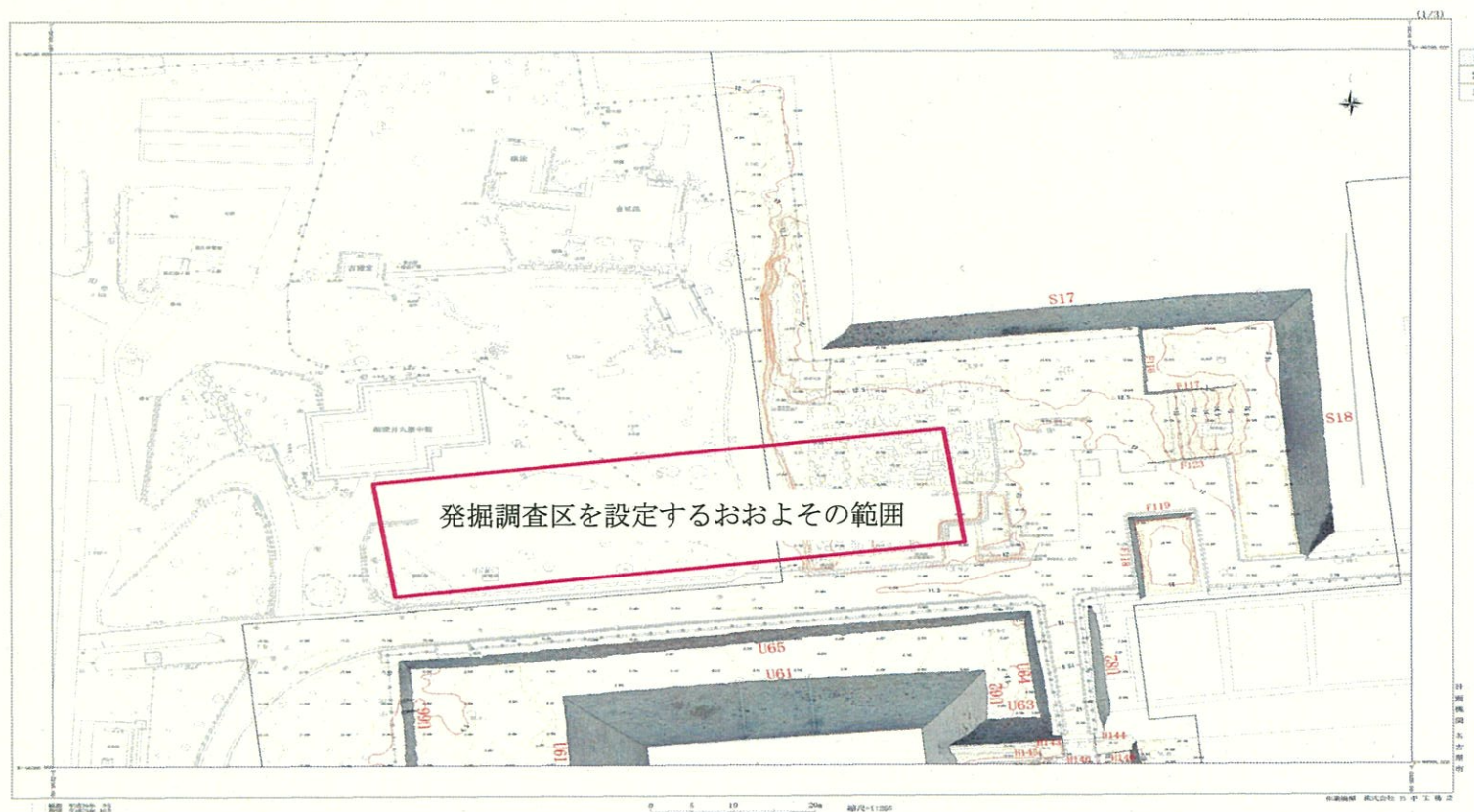
令和2年2月1日(土)
10:00~12:00
名古屋能楽堂 会議室



御深井丸の埋蔵文化財にかかる検討体制について

資料 1

現天守閣の解体に伴う仮設物設置にあたり、御深井丸の地下遺構を把握するための発掘調査等を行う必要がある。



御深井丸の埋蔵文化財は、石垣と地盤のつながりがあるため、切り離して議論することはできないと考えられる。

御深井丸の埋蔵文化財にかかる検討は石垣部会にて行う。

石垣部会には地盤工学の専門家を新たに加えるとともに、埋蔵文化財の専門家の追加も検討していく。

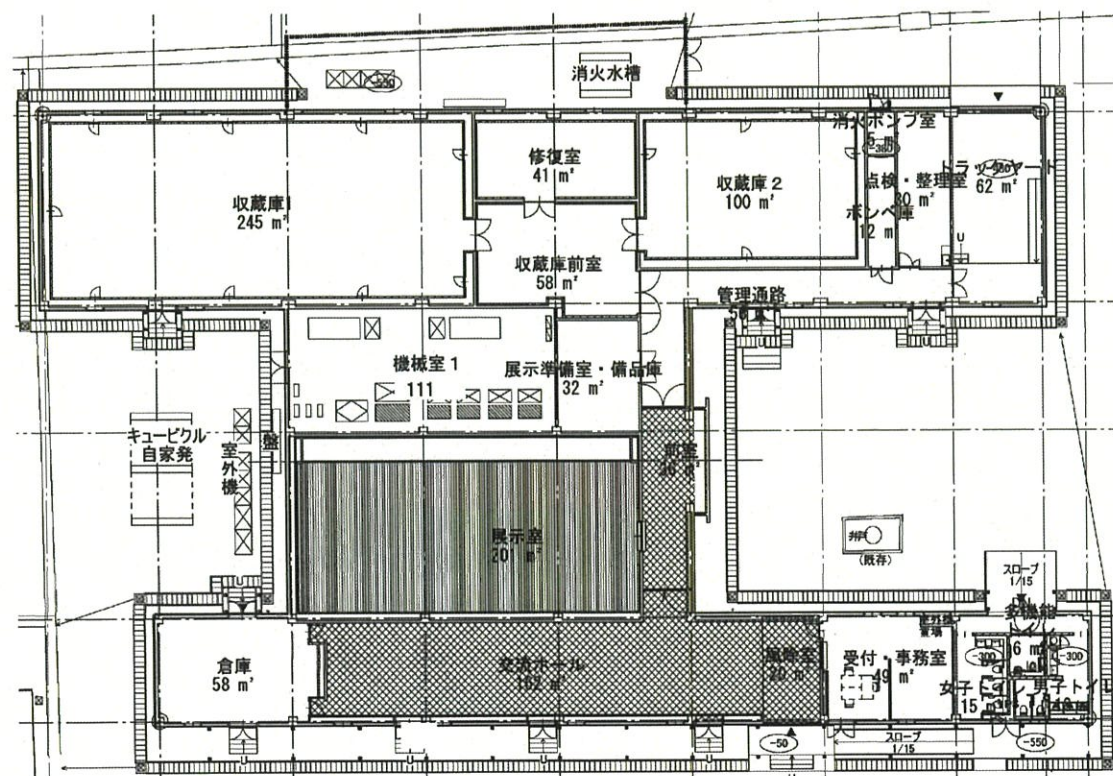
名古屋城重要文化財等展示収蔵施設(仮称)について

I. 建物概要

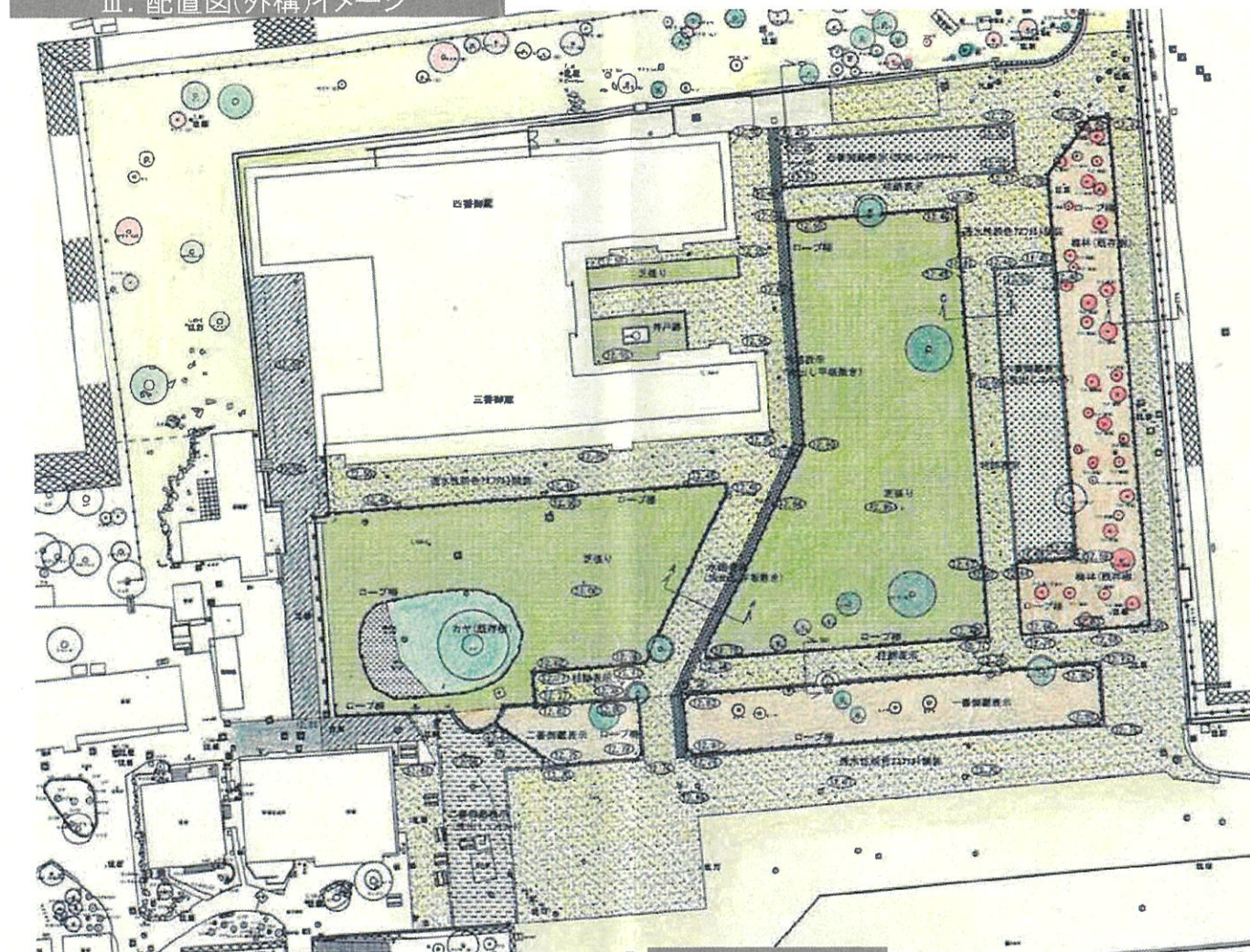
名古屋城重要文化財等展示収蔵施設(仮称)は、重要文化財である旧本丸御殿障壁画及び、昭和実測図、ガラス乾板、離宮期資料等の文化的価値が高い収蔵品を、恒温恒湿の適切な環境の下で収蔵及び展示を行う施設である。

構造・規模：鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造) 平屋建て
 延べ床面積：1,481.75㎡
 工期：平成29年12月から平成30年12月末(外構工事は令和元年度)
 収蔵庫の仕様：二重構造(床・壁・天井)、温度湿度管理
 主な諸室：収蔵庫、前室、修復室、点検・整理室、トラックヤード、機械室
 展示室、展示準備室・備品庫、交流ホール、受付・事務室

II. 平面図



III. 配置図(外構)イメージ



V. 施設写真



IV. 今後のスケジュール

年度	内容
H30	・ 建設工事完了
	・ 外構発掘調査
R元	・ 室内環境調整
	・ 外構整備
R2	・ 供用開始

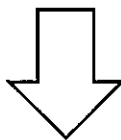
名古屋城本丸御殿等の防火対策について

首里城の火災を受けて

- ・文化財の防火管理等の点検・確認について（通知）
- ・国宝・重要文化財等の防火ガイドラインの改訂
- ・名古屋市会における指摘

本丸御殿

煙感知器、熱感知器、消火器、屋外消火栓
法令等の基準を満たす消防設備



- 建造物そのものを焼失から守るという観点
- スプリンクラーを始めとした初期消火に有効と
言われている消防設備を建造物部会に付議し検討